

OECU NEWS

Osaka
Electro-Communication
University

大阪電気通信大学 学報

2019年 10月1日発行
発行：学校法人 大阪電気通信大学
広報部広報課
〒572-8530 寝屋川市初町18-8
TEL 072-824-3325
<https://www.osakac.ac.jp/>

337号



特集1

esports専用常設スタジオ
学内に開設

特集2

寝屋川キャンパス大規模リニューアル進捗レポート

特集3

オープンキャンパス2019

OECU Club & Circle

サイクリング部／管弦楽団

NEWS & TOPICS

大阪電気通信大学高等学校 NEWS

- ・2020年春、変わる／クラブ活動紹介
- ・進路状況／説明会案内／入試概要など

2018年度決算報告／2019年度予算

esports project



esports 専用 常設スタジオ 学内に開設



本学は、全学的活動として「esports project」を昨秋に立ち上げ、およそ100人の学生が本プロジェクトに携わっています。これまで学生たちは、プレイヤー・配信・運営などそれぞれの役割を担い、大会やイベントなどで活動してきましたが、2019年7月に駅前キャンパス(京阪寝屋川市駅徒歩3分)5階にesports専用常設スタジオを開設し本格的に活動することになりました。

常設スタジオには、多数の機器を揃え、常時番組をLIVE配信できる設備も完備しました。また、同キャンパス1階には、100人規模のイベントが開催できるホールも備えています。ここでのイベント(主催・共催・協力)も配信・運営を含め、開催していく予定です。

また、7月6日には、本会場で「Shadowverse ES 地方大会 2019 Season 2 大阪 2nd」が開催されました。esports projectの学生が運営協力し、会場の設営や進行、常設スタジオで動画配信の機材を使ってイベントの中継・ネット配信を行いました。

esports project 特設サイト OPEN!

- 導入機器
- ゲーミング PC 10台
 - コンシューマゲーム機
・Nintendo Switch 8台
・PlayStation4 2台
 - グランツーリスモ筐体 2台
 - 配信カメラ 3台
- 競技タイトル
- グランツーリスモSPORT
 - スプラトゥーン2
 - 大乱闘スマッシュブラザーズ
 - ウイニングイレブン
 - リーグ・オブ・レジェンド
 - Shadowverse など

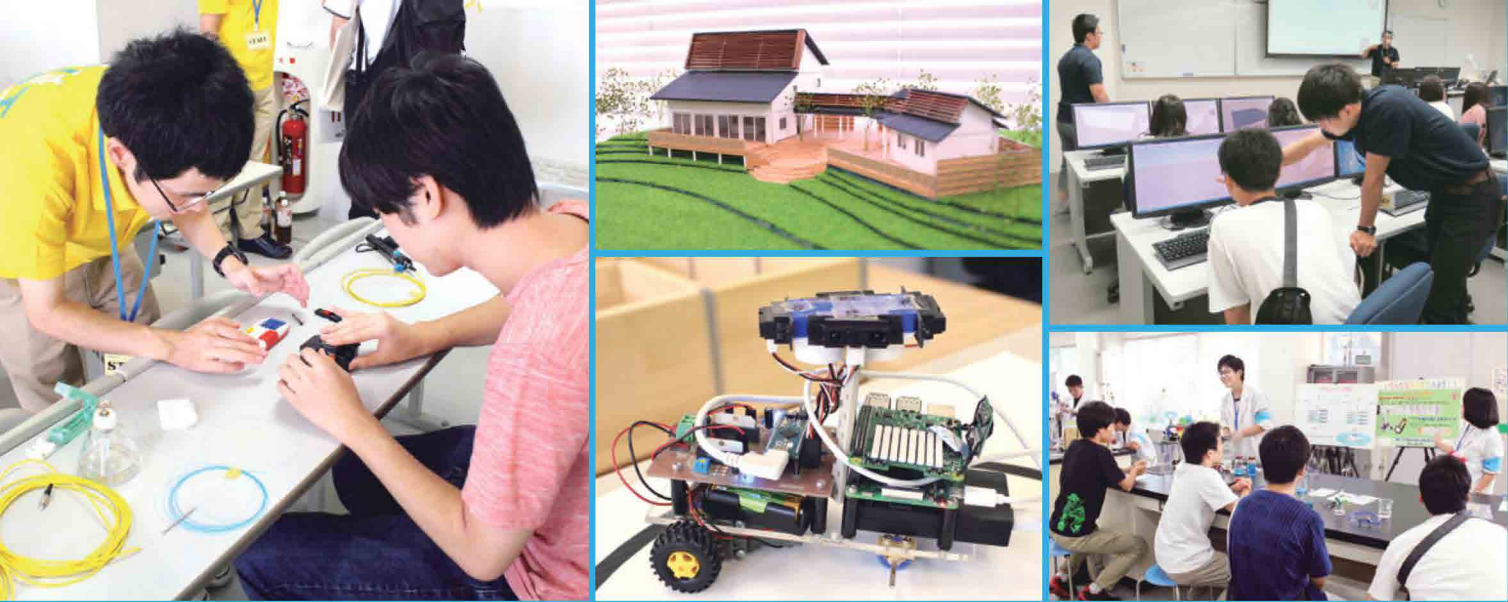


寝屋川キャンパス 大規模リニューアル 第2弾 工事進捗レポート

寝屋川キャンパスの大規模リニューアル工事は昨秋から本格的に始まりました。6月5日に起工式を行い、いよいよ新棟建設第1期がスタート。新棟の西側半分が2020年春、東側半分は2022年春に竣工

予定です。
新棟の外観・内観のBIM (Building Information Modeling)の操作画面をキャプチャした画像は、建築学科の学生が情報教育の一環として学ぶための教材として、

設計施工していただく株式会社竹中工務店からご提供いただきました。新たな時代を切り拓く人材を輩出するキャンパス完成に向けて環境を整備していきます。



寝屋川キャンパス

OPEN 2019 CAMPUS

6月16日に「授業体験型」、7月21日・8月24日に「自由参加型」のオープンキャンパスを開催。昨年より多くの方々にご参加いただき、学生たちは日ごろの学びを積極的に伝えました!



四條畷キャンパス



学生スタッフが全カサポート!!



サイクリング部からのメッセージ

本学のサイクリング部は、自転車競技部ではなく、無理な鍛錬などはありませんので、自転車に興味のある方はぜひお越しください!

Number
22

サイクリング部

サイクリング部は、「自転車で旅をすることを目的とした部活」で現在21人のメンバーが活動しています。私たちにお馴染みの「自転車」ですが、サイクリング部では「クロスバイク」や「ロードバイク」「マウンテンバイク」と呼ばれる自転車に乗っています。ロードバイクは自動車に匹敵するスピードで走ることが魅力で、先輩たちの中古自転車を改造しさまざまなパーツを組み合わせオリジナルの自転車に乗っている部員もいました。

普段のトレーニングは、走りこみや自転車の整備を行い、部室には工具が揃っているので

レーキ・タイヤ・ホイールなどのパーツを組み立てる作業などを行っています。また土日は、京都の嵐山や滋賀の琵琶湖などで走り身体を鍛えています。主なイベントは、5月のゴールデン



ウィークと8月の合宿です。景勝地や名所を訪れることが多く、今年の夏は高野山へ7泊走りこみをしました。行く先によっては20時間走ることもあり、限界に挑戦しているとのこと。

部長を務める前川士さん(工学部電気電子工学科2年生)に部の魅力を聞いたところ「1年生からOBまで自転車という共通のツールがあることによって全員仲が良く、チーム力が鍛えられます」と話してくれました。

サイクリング部の目標は、どこまでも「安全第一」で自転車を楽しむこと! 部員同士の仲がとても良いのが印象的でした。

OECU Club & Circle

大阪電気通信大学の
クラブ・サークル活動に迫る!

ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバスの美しい音色を奏でる「管弦楽団」は、部長の槻瀬彩名さん(工学部電子機械工学科3年生)を中心に18人のメンバーが、寝屋川キャンパス厚生棟1「第一音楽室」で木曜日の18時から20時まで練習しています。

外部から依頼があれば、地元の「音楽祭」などに参加し、日ごろの練習成果を本番で発揮しています。また学内行事では、「新入生歓迎イベント」「オープンキャンパス」などで演奏を披露。部のみ



なさんに、管弦楽団の魅力をたずねると「好きな曲を自分たちで選曲し演奏ができること」また、「先輩や後輩が仲良くアットホームな雰囲気の中で

練習ができることです」と話してくれました。

管弦楽団の指導をしている石川徹氏は「10年間、指導しているなかで楽団メンバーが1人になってしまう時代もありました。今年は新入生4人が入り、上級生たちの指導のおかげで、とても上手で驚いています。今年の目標は、クラシックの王道であるモーツァルトやベートーベンの楽曲を演奏することです」と話してくれました。

音楽を通して、地域に元気を届けてくれる管弦楽団に今後もより一層期待します。



管弦楽団

Number
23

管弦楽団からのメッセージ

大学に入学してからは始める人も多く、楽器もありますので、興味があればぜひ一緒に演奏しましょう! 大学歌の練習も始めたので演奏のご希望があれば喜んでいかせていただきます!

守口市教委と連携協定を締結

5月27日、守口市教育委員会と本学とのプログラミング教育に関わる連携協定を締結しました。本協定は、守口市のプログラミング教育を含む学校教育における包括的な推進について、本学と守口市教育委員会が連携して活動する協定となります。



プログラミング教育の取り組み

第1回守口市プログラミング教育に関する研修を開催

6月7日、「令和元年度第1回守口市プログラミング教育推進研修」が守口市立錦小学校で開催されました。本学の大村基将情報教育特任講師が先生方を対象に「小学校プログラミング教育概論」をテーマに講義を行いました。



茨城県プログラミング・エキスパート育成事業に協力

本学とプログラミング教育に関わる連携協定を締結している茨城県教育委員会の「茨城県プログラミング・エキスパート育成事業」で、本学ICT社会教育センター長代理の兼宗進教授（工学部電子機械工学科）と工学研究科制御機械専攻博士後期課程1年生の本多佑希さんが7月7日、今年度の対象者2次選考と昨年度の対象者へのフォローアップ研修を開催しました。



「第4回関西教育ICT展」で兼宗教授が講演

「ICTで教育力を高める」「教育現場で使えるICT環境の提案」をテーマに行われた「関西教育ICT展」で、工学部電子機械工学科の兼宗進教授が「プログラミング教育の課題と展望」と題して講演。2020年度から小学校でプログラミング教育が必修化されることから、小中高の先生ら約130人が参加し、小中高の連続したプログラミング教育の流れや、それぞれの段階での学びの特色を解説しました。

インディーゲームの祭典「BitSummit」に参加



総合情報学部デジタルゲーム学科、ゲーム&メディア学科の学生が、6月1日・2日に京都市勧業館「みやこめっせ」で開催された日本最大級のインディーゲームの祭典「BitSummit」（ビットサミット）に参加しました。

このイベントは、国内外のゲーム開発者やクリエイターによる対談、講演などのほか作品展示が行われ、本学からは電ch!の企画で制作した学生と教員による研究作品「esports VR」と、デジタルゲーム学科・ゲーム&メディア学科の学生によるオリジナル作品（13タイトル）を出展。中でも「esports VR」は、ゲームの実況視聴者がまるで試合会場にいるかのような臨場感で観戦を楽しむことができる、新しい形のesports観戦をVRで体験できるとあって、オリジナル作品も合わせて550人もの皆さんに参加していただきました。学生たちは、来場者の皆さんとの触れ合いの中で多くの刺激を受けたようでした。

大学オリジナルクッキーを販売

大阪電気通信大学のロゴ入りクッキーの販売を開始しました。寝屋川キャンパスZ号館1階の生協と、四條畷キャンパスKOZUKIホール1Fの生協で販売しています。銀座コロナン東京のクッキーで、缶には四條畷キャンパスのコナミホールとシンボルマーク、タグラインなどが刻まれています。また、クッキーにも大学名などを印字しておりますので、ぜひご賞味ください。（定価2,160円、33枚入り）



「esports project」の学生がKONAMIのサポートとして参加

小さな子どもやファミリーが企画・イベントを通して、各府省庁の取り組みを楽しみながら学べる内閣府のプログラム「こども震が関見学デー」が8月7日・8日に実施されました。同イベントのプログラムのひとつとして、

KONAMIが主催する「esports体験イベント」（8月7日）に「esports project」の学生2人がサポートとして参加しました。本学の学生は、カメラとスイッチャー役の小学生を丁寧にサポートしました。

名誉教授称号記授与式



名誉教授(敬称略)

- 小笹俊博
(元 工学部機械工学科教授)
- 浄慶一之
(元 医療福祉学部健康スポーツ科学科教授)
- 浅倉史興
(元 共通教育機構数理科学教育研究センター教授)
- 林内賀洋
(元 共通教育機構数理科学教育研究センター教授)

8月1日、寝屋川キャンパスで名誉教授称号記授与式を行い、大石理事長・学長が、授与された4人の先生方の長年にわたる本学への貢献に対し感謝の言葉を述べました。授与式後の昼食会は終始、和やかな雰囲気、思い出話や近況報告などを楽しむ様子が見られました。



「～わくわく科学体験！～テクノフェアinイオンモール四條畷」開催

最先端の科学技術に触れて学びを深める体験型イベント「～わくわく科学体験！～テクノフェア」を四條畷市のショッピングセンター「イオンモール四條畷」で8月21日に開催しました。

7月1日に地域振興と発展を目的に連携協定を結んだ学校法人大阪電気通信大学とイオンモール四條畷の初めてのコラボレーション企画となりました。

当日は、プログラミングやCG合成体験、ストラップ製作など身近な道具を使ったモノづくりからiPadを使ったプログラミングまで、幅広いジャンルのプログラムに約500人が参加。親子でプログラムを体験する姿も多く見られました。2020年度から小学校で必修化されるプログラミング教育を前に、「iPadを使ったブロックプログラミング」と「コ

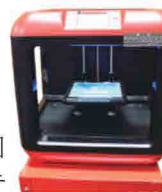


ンピュータを使わないプログラミングには約70人の小学生が参加しました。本学の大学院生や学部生のサポートを受けながら、和気あいあいと取り組んでいました。

今後もテクノフェアをはじめさまざまな取り組みを通して、地域への貢献及び地域との連携を深めていきます。

3Dプリンタの贈呈式

8月23日、寝屋川キャンパス学長室で、池田泉州銀行から寄贈いただいた3Dプリンタの贈呈式が行われました。今回の寄贈は、日本マイクロシステムズ株式会社（代表取締役社長は本学の卒業生の山崎貞彦様）が、池田泉州銀行の寄付型私募債を利用し、本学を指定していただいたものです。寄贈いただいた3Dプリンタは、学生の更なる技術力向上のため、四條畷キャンパスの自由工房で使用します。学生をはじめ本学にとっても大変有難いことであり、有効に活用させていただきます。



女子バスケットボール部が大阪府民スポーツ大会で準優勝！



5月6日～28日に開催された大阪府民スポーツ大会・バスケットボール競技で本学強化指定クラブの女子バスケットボール部が準優勝を果たしました。

長カレー」2種類とサプライズとして、バスケットボール部をイメージしたオリジナルのデコレーションが施された特大のケーキが登場すると、学生たちからは歓声が上がりました。今後の女子バスケットボール部の活躍に期待します。



8月7日には大石理事長・学長が、クラブ活動や研究活動で優秀な成績や成果を収めた学生を招待し、カレーを食べながら懇談、激励する「学長カレー」を四條畷キャンパスのKOZUKIホールで開催。この日のために特別に用意された「学



友電会主催「第42回令和元年度卒研室対抗ソフトボール大会」を開催

本学の同窓会組織「友電会」主催の「第42回令和元年度卒研室対抗ソフトボール大会」が9月3日・4日、寝屋川キャンパスのグラウンドで開催されました。

本大会には24チーム約300人が参加。開会式では福田武友電会会長が「大学生活で勉学以外に取り組むこのような課外活動は、何十年経っても心に残ります。ぜひ学生時代の良い思い出作りとして元気にプレイして下さい」とメッセージを送りました。



昨年から本大会で使用されているベースボールカウンターとスコアボードは、工学部電気電子工学科が友電会の依頼を受けて学生らが実習の一環として製作。学生と教員が一体となって白球に情熱をぶつけ、熱戦を繰り広げた2日間となりました。

「第23回びわ湖クルーズ・ソーラーボート大会」で入賞

8月17日・18日に行われた「第23回びわ湖クルーズ・ソーラーボート大会」に自由工場の学生が参加し、先端技術部門ソーラーパネル面積0.5㎡以下(50W級)で3位に入賞しました。

自由工場のメンバー、工学部電子機械工学科2年生の福田海渡さん(知能ロボコンプロジェクト)、同学科3年生の城健斗さん(EV「電気自動車」プロジェクト)、同学科3年生の長澤雄太さん(マイクロマウスプロジェクト)、情報通信工学部情報工学科2年生の橋本和奏さん(知能ロボコンプロジェクト)4人がソーラーボートを製作。部品を3Dプリンタで作製するなど、学生4人の長所と団結により短期間でボートを完成させることができました。当日は晴天に恵まれ、初めての挑戦でしたが、航行距離で3位に入賞することができました。学生たちは、「来年もソーラーボートを改良しさらに上をめざします!」と力強く話しています。



学内・学外で開催される予定のイベント情報をお届けします。



第59回大学祭

11月3日(日)・4日(月・振休) ▶寝屋川キャンパス

大学祭実行委員会の学生が中心となり、2日間にわたり寝屋川キャンパスで様々な企画を催します。模擬店、展示、ライブなど、楽しいイベントが満載です。

▶ホームカミングデー

11月3日(日) ▶寝屋川キャンパス

卒業生の方々に、大学の近況に触れ、恩師や同窓生との旧交を温めていただくイベント「ホームカミングデー」を開催します。

▶なわフェス'19

11月24日(日) ▶四條畷キャンパス

四條畷キャンパスのイベント「なわフェス」では、四條畷キャンパスイベント運営委員会を中心に、ステージ企画やゲーム大会など、趣向を凝らした様々なイベントを行います。



2020年度入試日程

試験種別	募集学部	出願期間	試験日	合否発表日
AO入試	工学部 情報通信工学部 医療健康科学部 総合情報学部	インターネット出願：9月20日(金)0:00～10月1日(火)20:00 出願書類送付期限：10月1日(火)消印有効	10月12日(土)	10月19日(土)
プログラミング AO入試 NEW	工学部(電子機械工学科) 情報通信工学部 総合情報学部 (デジタルゲーム学科・情報学科)	インターネット出願：9月27日(金)0:00～10月9日(水)20:00 出願書類送付期限：10月9日(水)消印有効	10月20日(日)	10月26日(土)
得意科目セレクト入試 専門学科・総合学科特別入試		インターネット出願：10月17日(木)0:00～10月28日(月)20:00 出願書類送付期限：10月28日(月)消印有効	A日程：11月9日(土) B日程：11月10日(日)	11月19日(火)
公募推薦入試 A・B日程		インターネット出願：11月15日(金)0:00～11月29日(金)20:00 出願書類送付期限：11月29日(金)消印有効	12月8日(日)	12月14日(土)
特待生入試	工学部 情報通信工学部 医療健康科学部 総合情報学部	インターネット出願：1月6日(月)0:00～1月21日(火)20:00 出願書類送付期限：1月21日(火)消印有効	A日程：1月31日(金) B日程：2月1日(土)	2月11日(火)
一般入試		インターネット出願：1月6日(月)0:00～1月30日(木)20:00 出願書類送付期限：1月31日(金)必着	—	2月13日(木)
前期A・B日程		インターネット出願：2月7日(金)0:00～2月21日(金)20:00 出願書類送付期限：2月21日(金)消印有効	3月2日(月)	3月9日(月)
前期センター方式		インターネット出願：2月7日(金)0:00～2月25日(火)20:00 出願書類送付期限：2月26日(水)必着	—	3月9日(月)
後期				
後期センター方式				

※詳しくは、入学試験要項にてご確認ください。

大阪電気通信大学の国際交流

日本文化講座を開催

国際交流センターは毎年、留学生を対象に全8回の日本文化講座を開催しています。6月に実施した3回目の講座は、総合情報学部デジタルゲーム学科4年生の小向千尋さんが講師を務め、「盤双六」について説明しました。今回は、中国・韓国の留学生9人が参加し、古い時代に中国から伝わった盤双六の歴史などを学んだ後、実際の盤を用いて、「本双六」の2種類の対局に臨みました。



2019年度 夏期短期留学プログラム結団式

8月6日、国際交流センター主催の「2019年度 夏期短期留学プログラム結団式」を寝屋川キャンパスで開催。今回の留学プログラムには10人の学生が参加し、夏期休暇期間を利用して中国と韓国へ留学します。現地で異文化体験・異文化交流などを通してグローバルな視野を身に付けることを目的としています。留学を前に学生たちは目標や決意を述べました。

資料請求・お問い合わせ

〒572-8530 寝屋川市初町18-8 大阪電気通信大学 入試部
TEL:072-813-7374 FAX:072-825-4589
HP: <https://www.osakac.ac.jp/> E-mail: nyushi@osakac.ac.jp

変わる！大阪電気通信大学高等学校

校長 廣谷 明

2021年に学校法人大阪電気通信大学は、創立80周年を迎えます。発足当時の高等学校は、無線通信技術者の育成を柱として、通信業界を中心に有為な人材を社会に輩出してきました。近年では、情報通信や情報ネットワーク化が加速的に進化し、人工知能技術やIoT (Internet of Things) もそれに伴いさらに進化をしています。本学園が最も重要視してきた電気通信を中心とした情報教育が、今日の通信技術の基盤を創り上げ社会に貢献してきました。

今後、電気通信関連の技術革新がますます進むなかで、本校では、情報教育をベースとして、併設する大阪電気通信大学とさらに密なる連携を図り、大学との連携授業や体験学習を重視し、本校独自の「高校3年+大学4年」の学びとつながりを深めた教育を充実させ確かな人間力・技術力を備えた人材の育成に努めてまいります。

具体的には、新たな時代に伝える力を身に

つけるため2020年4月から2学科6コースから2学科9コース体制となります。今までの普通科進学コースが進学総合コースとなり、新たに「アドバンスコース(選抜)」と「メディア情報コース」が誕生します。5月、政府の教育再生実行会議が「技術の進展に応じた教育の革新、新時代に対応した高等学校改革について」の提言を発表しました。それによると、高校普通科を選択可能な学習の方向性に基づいた類型の枠組みを示すこととあり、今回、本校の普通科の「メディア情報コース」は提言の先駆けとも言える取り組みです。

一方、電子工業科は、大阪電気通信大学の専門分野とのつながりにおいて、モノづくりから研究・開発への幅広い知識を得るために「工学科」と改め、従来の電子情報コースを「ロボット機械コース」と「IoT情報通信コース」として新たに設置します。「ロボット機械コース」では、ロボットの製作技術やセンサー技術の基礎を学び、「IoT情報通信コース」



では、インターネットとモノとのつながりのなかでの動作基礎や制御技術を学びます。大学設置の学科とのつながりをより見える化することで、生徒自らの学びに向かう力が高められていきます。すなわち、そこでの知識の獲得が自身の「人間力」を高め、あわせて「技術力」においても確かな獲得ができるものと確信します。

学ぶ生徒一人ひとりの進路を考え、より大きく・より強く社会に貢献できる人材の育成に責任をもって向き合っていくのが私たち教職員の使命であり、役割かと思っています。確かな一歩を、本学園とともに自身で踏み出していきましょう！

2020年4月 NEW START!!

より専門的で高大連携を強化、新たな時代に伝える力を学ぶためのコースが誕生します。詳しくは高校webサイトをご覧ください。



硬式野球部

夏の高校野球大阪大会 強豪校相手に善戦



硬式野球部はこの夏の「第101回全国高等学校野球選手権大会大阪大会」で4回戦に進出しました。昨年に引き続き、4回戦に進出しましたが、全国制覇を果たした履正社高

校に1-2の僅差で敗れました。惜敗したものの、着実に実力と実績を重ねていることを証明しました。今後もより高みをめざし挑戦していきます。

今大会の戦績		
2回戦	VS.大阪高校	2-1 ○
3回戦	VS.同志社香里高校	9-0 ○(7回コールド)
4回戦	VS.履正社高校	1-2 ●

バレーボール部

第72回全日本高校バレーボール選手権大会 大阪地区予選 東地区で優勝



第72回全日本高校バレーボール選手権大会の大阪地区予選東地区男子が7月20日に開催されました。

電通高校は決勝戦で枚方高校に勝利し、東地区で優勝することが

できました。10月の決勝ラウンドに向けて練習を重ねながら勝利に向かって頑張ります。

e-スポーツ同好会

青春をかけるe-スポーツ同好会!

e-スポーツ同好会は6月2日、高校生eスポーツ全国大会「STAGE :0 (eSPORTS High-School Championship 2019)」の関西ブロック代表決定戦に初めて出場しました。この大会に向けて活動するe-スポーツ同好会の生徒たちの様子がテレビ大阪の番組で紹介されました。

また、大阪電気通信大学の「esports project」の学生と7月

に駅前キャンパスに開設されたesports常設スタジオで一緒に練習をするなど、高校・大学が連携しesportsに取り組んでいます。



卓球部

近畿新人大会、近畿大会に出場

7月24日～26日にならでんアリーナ(奈良市)で開催された「近

畿高等学校卓球選手権大会」に出場しました。近畿高等学校新人卓球大会に続き、2つの大会に連続出場となり、今回は団体、ダブルス(吉留・梅木組、宗像・米村組)の2種

目に出場。ダブルスで同時に2組が近畿大会に出場するのは卓球部創部以来初の快挙となりました。吉留・梅木組は明石商業と対戦して1-3で敗退。宗像・米村組は1回戦の奈良高校に勝利しましたが、2回戦でシード選手と対戦し0-3で敗

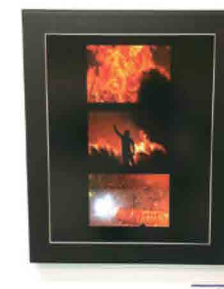
退しました。団体戦ではベスト16に入るといふ大きな目標をもって臨みましたが、残念ながら2回戦敗退となりました。この経験を糧に次の新チームで目標達成のため努力していきたいと思ひます。

写真部

「第43回全国高等学校総合文化祭」に参加

7月27日～31日、佐賀県嬉野市で開催された「第43回全国高等学校総合文化祭」に3年生の1人が参加しました。全国大会の参加は通算4回目です。大会は大阪府下300点以上の中から上位10点に選ば

ることができました。講演会や生徒交流会にも参加し、有田方面の撮影会では全国の写真を愛する仲間たちと交流しながら撮影を体験しました。今後も、写真部の活動の中で、新たな土地や様々な人との関わりを通じて撮影・作品づくりに精進していきたいと思ひます。



進路実績と今後の展開

進路指導部長 内田 悟

文部科学省の、各大学入学定員過剰確保状況に対する補助金カット可能性の示唆により、一般入試合格状況に起こった大きな異変が話題になっています。例年であれば合格するはずの受験生が合格できない、各大学が最後の最後で多くの追加合格を発表するといった事態です。本校は従来、推薦入試を中心とする進学指導を行っておりますので、影響はほとんど受けませんでした。他校が今年のような状況を警戒して、推薦入試を中心とする進学指導にシフトする可能性がありますので、それとの競合が今後少し懸念ですが、大阪電気通信大学特別入試をはじめとする各推薦選抜指導の蓄積が本校受験生を今後も支えることができると考えています。

今春卒業生の特徴は卒業生の51%が併設の大阪電気通信大学へ進学したことです。緩やかではありますが、景気の上昇は続き、一般的には文高理低の傾向の中、この結果は本校生の入学時からの意識の高さを証明するものでもありました。多くの生徒が目的意識を持って本校に入学してきているということです。また、学年の各担当が生徒一人一人に最も適した進路を実現するため積極的な情報提供や情報入手に対する指導がなされた結果でもあります。

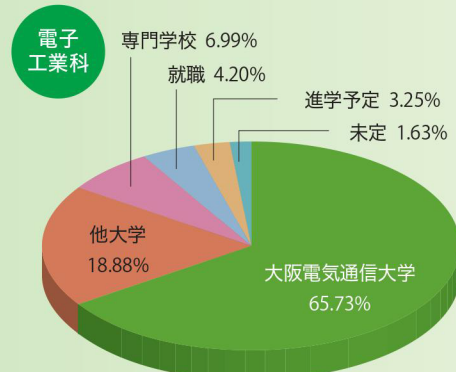
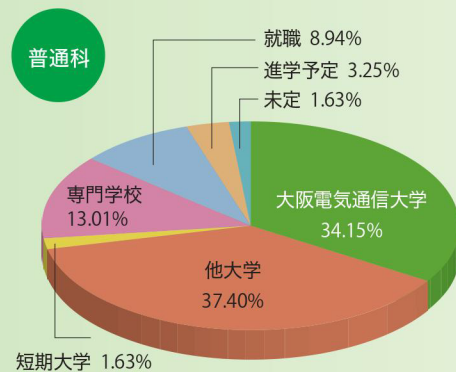
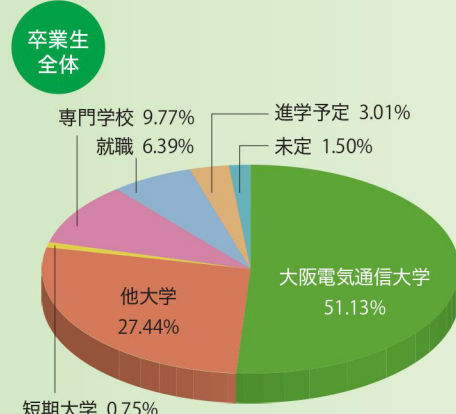
4年制大学は大阪電気通信大学

に136人、他大学に73人の合計209人(普通科88人、電子工業科121人)の生徒が進学しました。大阪電気通信大学進学者のうち特別入試で進学した生徒は116人(特別指定校17人、連携コース99人)で、大阪電気通信大学進学者の85.29%の生徒がこの制度を利用して進学しました。この入試制度は専願入試であり、前述の本校生の意識の高さを示しています。

専門学校には例年通り、医療系・工業系を中心に26人が進学しました。就職は学校紹介を希望する14人全員が内定をいただきました。今回の就職求人にて特筆すべきことは、製造業が今年も人気であったこと。また、数年ぶりに京阪百貨店の求人が寄せられ、かつその求人に応募した生徒が内定をいただいたことです。就職指導では門真ハローワークのご協力を得ながら、企業がコミュニケーション能力を重視していることを強く伝えました。

進学では来年度から新しい入試制度が始まります。主体的に自分の考えを示すことが入試の様々な場面で求められます。進学、就職ともにコミュニケーション能力がますます求められる傾向にあり、本校のあらゆる指導の中でコミュニケーション能力の涵養を意識していかなければなくなると考えられます。

2019年3月卒業生 進路状況



大学・学部別 合格数・進学数 合計

大学・短大名	学部名	普通科		電子工業科		合計	
		合格数	進学数	合格数	進学数	合格数	進学数
大阪電気通信大学	工学部	13	13	24	21	144	136
	情報通信工学部	4	4	18	15		
	医療福祉工学部	19	19	29	28		
	総合情報学部	6	6	31	30		
同志社大学	理工学部			1	1	1	1
関西大学	システム理工学部			1		1	
	経済学部	1	1				
近畿大学	工学部			1	1	5	5
	法学部	1	1				
	理工学部	2	2				
	情報理工学部			2	1		
京都産業大学	情報理工学部			2	1	2	1
龍谷大学	理工学部			1	1	1	1
関西外国語大学	英語国際学部			1	1	1	1
大阪工業大学	ロボティクス&デザイン工学部			5	2	12	8
	工学部			4	3		
	情報科学部			3	3		
摂南大学	法学部	1	1	2	1	6	3
	理工学部			1	1		
	経済学部			2			
金沢工業大学	工学部	1	1	1	1	2	2
大阪産業大学	デザイン工学部	1	1			5	4
	経済学部	1	1				
	工学部			1	1		
	国際学部	1	1	1			
大阪経済大学	経済学部	1	1			16	13
	経営学部	1	1	1			
	経済学部	6	6	2			
	国際教養学部	3	3				
阪南大学	社会学部	3	3			1	1
	経済学部	1	1				
大阪国際大学	経営経済学部			1	1	2	2
	人間科学部	1	1				
	総合経営学部	1	1				
大阪商業大学	総合経営学部	1	1			1	1
流通科学大学	経済学部			1		1	
大阪学院大学	外国語学部	1	1	1	1	8	5
	経営学部	1	1	1	1		
	経済学部	1					
	国際学部	1	1				
大阪成蹊大学	マネジメント学部	1	1			1	1
	現代社会学部	1	1	1		2	1
四條畷学園大学	リハビリテーション学部			1	1	1	1
大阪物療大学	保健医療学部	1	1			1	1

大学・短大名	学部名	普通科		電子工業科		合計	
		合格数	進学数	合格数	進学数	合格数	進学数
大阪行岡医療大学	医療学部			1	1	1	1
日本大学	文学部	1	1			1	1
福岡大学	スポーツ科学部	1	1			1	1
大阪体育大学	体育学部	1	1			1	1
大阪青山大学	健康科学部	3	3			3	3
びわこ成蹊スポーツ大学	スポーツ学部	1	1			1	1
大阪人間科学大学	人間科学部	3	3	1	1	4	4
関西福祉科学大学	健康福祉学部	1	1			1	1
花園大学	社会福祉学部			1	1	1	1
京都造形芸術大学	芸術学部			1	1	1	1
大阪芸術大学	芸術学部	1	1	1	1	2	2
京都精華大学	マンガ学部			1	1	1	1
大手前大学	メディア・芸術学部	1	1			1	1
天理大学	体育学部	1	1			1	1
四年制大学 計		89	88	146	121	235	209
関西外国語大学	短期大学部	1	1			1	1
大手前短期大学	短期大学部	1	1			1	1
短期大学 計		2	2			2	2
合計		91	90	146	121	237	211

専門学校状況

森ノ宮医療学園専門学校	京都府看護専修学校
履正社医療スポーツ専門学校	近畿医療専門学校
大阪保健福祉専門学校	OCA大阪デザイン&IT専門学校
大阪情報コンピュータ専門学校	パンタンアカデミー
大原簿記法律専門学校	大阪観光専門学校
専門学校日産京都自動車大学校	関西美容専門学校
大阪調理製菓専門学校 ecole UMEDA	放送芸術学院専門学校
大阪アニメーションスクール専門学校	大阪デザイナー専門学校
キャットミュージックカレッジ専門学校	NSC大阪
ESPエンタテイメント大阪専門学校	社会福祉法人ふるほの

就職状況

(株)京阪百貨店	タナカブリコート(株)
近畿日本鉄道(株)	(株)エマナック西日本
日本ギア工業(株)	名鉄運輸(株)
岩田硝子工業(株)	上田製袋(株)
(株)太陽機械製作所	摂津倉庫(株)
(株)クリエイティブジャパン	南晃工業(株)
マルイチエクソム(株)	(有)松原水産
(株)アスモ介護サービス	海上自衛隊

中学生・保護者対象 ※予約不要

大阪電気通信大学高等学校 入試説明会

内容：2020年度入試説明・施設見学・入試相談
会場：大阪電気通信大学高等学校 体育館1階



2020年度 高等学校入試概要

学 科	普通科	電子工業科
募集人員	160名 ・進学総合コース120名 ・健康スポーツコース40名	160名 ・理数コース40名 ・工学連携コース120名
出願期間	1月23日(木)～1月31日(金)午前9時から午後4時まで(土・日は受付不可) ※郵送の場合は1月31日(金)必着 ※提出先：高等学校事務部	
試 験 日	●筆記試験(国・数・英): 2月10日(月) 午前9時～(集合午前8時50分) ●面接試験(受験生のみ): 2月11日(火・祝) ※受験番号により面接時間が異なります。	
合格発表	2月13日(木) 郵送	

◎試験科目：国語、数学、英語 各100点、50分 ◎両科とも男女共学
◎普通科の「健康スポーツコース」は1年次より1クラス(40人)募集。
◎電子工業科の「理数コース」は1年次より1クラス(40人)募集。それ以外のコースは一括募集し、2年次にコース分けを行う。



2018年度 決算報告

学校法人大阪電気通信大学の2018年度決算は、監査法人及び監事の監査を終え、5月25日の評議員会の諮問を経て、理事会にて承認されました。

学校法人会計基準では、計算書類として「資金収支計算書」、「事業活動収支計算書」、「貸借対照表」、並びに、資金収支計算書を活動区分毎に区分けし、企業会計におけるキャッシュフロー計算書に位置付けられる「活動区分資金収支計算書」を作成することとなります。「活動区分資金収支計算書」や、詳細な決算報告、事業報告の内容につきましては、当学校法人ホームページ(https://www.osakac.ac.jp/corp/)内の学園情報に掲載しております。

2018年度の資金収支計算書と事業活動収支計算書、並びに貸借対照表は次の通りです。

(1) 資金収支計算書

資金収支計算書(表1)は、学校法人の毎会計年度における、教育研究その他の諸活動に伴い発生する全ての収入、支出の内容及び支払資金の顛末を明らかにしたものです。2018年度における資金収入は119億4,912万円となりました。これに対し資金支出は105億9,817万円で、当年度の資金収支差額は13億5,095万円の収入超過となり、これに前年度の繰越金69億9,664万円を加え、翌年度への繰越金は83億4,760万円となりました。主な内容は、次の通りです。

●収入の部

1. 学生生徒等納付金収入

大学では、授業料収入等の増加により、納付金全体で、前年度より1億4,994万円の増収。高校では、生徒数の増加により、納付金全体で、前年度より2,298万円の増収

2. 手数料収入

大部分は入学検定料。その他手数料もあわせて前年度より4,539万円の増収

3. 寄付金収入

前年度より631万円の増収

4. 補助金収入

国及び大阪府等からの補助金。このうち経常費補助金は9億7,684万円で、その他の補助金も含め前年度より1,424万円の増収

5. 付随事業・収益事業収入

主として大学の研究受託収入(26件)

6. 雑収入

主として退職者に対する私学退職金財団からの交付金や施設設備利用料

7. 前受金収入

2018年度末までに2019年度入学生から受領した入学金・授業料等

8. その他の収入

前年度の未収入金の入金額、施設設備等拡充引当特定資産の取り崩しによる繰入額、学外諸団体からの預り金の受け入れ等

9. 資金収入調整勘定

期末の未収入金と前期末の前受金。現金収受が翌年度あるいは前年度に行われ、当年度に資金が入金されないので控除

●支出の部

1. 人件費支出

教職員の給与・退職金。当年度は、全体として1億2,720万円の増額

2. 教育研究経費・管理経費支出

教育研究経費は教育及び研究に要した経費で奨学金、修繕費等。管理経費は、学生生徒募集等に要した諸経費等

3. 施設関係支出

建物・構築物の新築、改修に要する支出。主な支出として、寝屋川キャンパス新棟工事関連費用、寝屋川キャンパスK・N号館耐震補強工事費用

4. 設備関係支出

機器、備品、図書等教育研究用設備取得に要した支出。主な支出と

して、高等学校C号館プログラミング教室リプレイス費用

5. その他の支出

前年度の未払金の支払い、学外諸団体の預り金の払い出し等

6. 資金支出調整勘定

当年度に計上した諸経費のうち翌年度に支払う金額、または前年度に既に支払った金額。当年度に資金を支出しないので控除

収入の部	科目		本年度決算額	前年度決算額	増減
		学生生徒等納付金収入	7,249,453	7,076,526	172,927
	手数料収入	188,460	143,060	45,399	
	寄付金収入	16,420	10,106	6,313	
	補助金収入	1,236,945	1,222,697	14,247	
	資産売却収入	206,639	69,381	137,257	
	付随事業・収益事業収入	26,706	25,973	732	
	受取利息・配当金収入	97,235	140,543	△ 43,308	
	雑収入	225,982	287,591	△ 61,608	
	借入金等収入	0	0	0	
	前受金収入	1,130,275	1,415,804	△ 285,529	
	その他の収入	3,167,569	5,034,420	△ 1,866,851	
	資金収入調整勘定	△ 1,596,560	△ 1,593,255	△ 3,305	
	前年度繰越支払資金	6,996,646	6,111,141	885,505	
	収入の部合計	18,945,774	19,943,992	△ 998,218	
支出の部	科目		本年度決算額	前年度決算額	増減
		人件費支出	4,684,348	4,557,145	127,202
	教育研究経費支出	2,147,725	2,199,728	△ 52,002	
	管理経費支出	648,329	631,429	16,899	
	借入金等利息支出	17,739	19,705	△ 1,966	
	借入金等返済支出	94,430	94,430	0	
	施設関係支出	892,409	818,240	74,169	
	設備関係支出	126,320	167,904	△ 41,583	
	資産運用支出	1,567,226	4,223,415	△ 2,656,188	
	その他の支出	1,300,999	1,088,804	212,195	
	資金支出調整勘定	△ 881,359	△ 853,457	△ 27,901	
	翌年度繰越支払資金	8,347,603	6,996,646	1,350,957	
	支出の部合計	18,945,774	19,943,992	△ 998,218	

.....

(2) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書(表2)は、当該年度の事業活動収入と事業活動支出の内容を示し、事業活動収支の均衡状態を把握して学園の経営状態を見る重要な計算書です。資金収支計算書では、全ての収入支出を表しており、負債となる借入金や預り金の収入、返済金や払出金等の支出が含まれていますが、事業活動収支計算書ではそれらは含まれません。また、事業活動収入の中の「寄付金」には、資金の伴わない現物寄付が含まれています(資産となる現物寄付の場合は「その他の特別収入」に含まれます)。事業活動支出の部では、支払資金でない「退職給与引当繰入額」、「減価償却額」及び資産を売却した売却損や廃棄した場合の「資産処分差額」等の科目が含まれています。概要は、次の通りです。

当年度の事業活動収入の合計は、90億8,260万円で前年度より1億3,524万円の増額となりました。次に事業活動支出の合計は、86億9,107万円で前年度より1,214万円の減額となりました。

結果として、2018年度の基本金組入前当年度収支差額は3億9,153万円の収入超過となり、基本金組入額合計5億9,923万円を控除した当年度収支差額は2億770万円の支出超過となりました。

(注)「基本金組入額」とは学校法人が教育研究等諸活動の計画に基づき取得した資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、基本金組入前当年度収支差額から組入れた金額であり、組入れ対象資産として次の4つに区分されます。
第一号基本金: 設立当初に取得した固定資産で教育の用に供されるものの価額又は新たな学校の設置若しくは既設の学校の規模の拡大若しくは教育の充実に資するための固定資産の価額
第二号基本金: 新たな学校の設置又は既設の学校の規模の拡大若しくは教育の充実に資するために将来取得する固定資産の取得に充てる金銭その他の資産の額

第三号基本金: 基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭その他の資産の額
第四号基本金: 恒常に保持すべき資金として定められた計算により算出された額

科目	本年度決算額		前年度決算額		増減
		7,249,453	7,076,526	7,076,526	172,927
	188,460	143,060	143,060	45,399	
	21,044	21,495	21,495	△ 451	
	1,197,059	1,101,983	1,101,983	95,075	
	26,706	25,973	25,973	732	
	225,982	287,621	287,621	△ 61,638	
	8,908,706	8,656,660	8,656,660	252,045	
	4,680,273	4,478,520	4,478,520	201,753	
	(222,777)	(242,757)	(242,757)	(△ 19,979)	
	3,272,525	3,346,623	3,346,623	△ 74,098	
	(1,119,137)	(1,131,186)	(1,131,186)	(△ 12,048)	
	657,316	636,395	636,395	20,920	
	(6,764)	(7,381)	(7,381)	(△ 617)	
	0	0	0	0	
	8,610,115	8,461,539	8,461,539	148,575	
	298,591	195,121	195,121	103,469	
	97,235	140,543	140,543	△ 43,308	
	0	0	0	0	
	97,235	140,543	140,543	△ 43,308	
	17,739	19,705	19,705	△ 1,966	
	0	0	0	0	
	17,739	19,705	19,705	△ 1,966	
	79,495	120,837	120,837	△ 41,342	
	378,087	315,959	315,959	62,127	
	0	9,418	9,418	△ 9,418	
	76,664	140,739	140,739	△ 64,074	
	76,664	150,158	150,158	△ 73,493	
	63,184	221,972	221,972	△ 158,788	
	36	2	2	33	
	63,220	221,974	221,974	△ 158,754	
	13,444	△ 71,816	△ 71,816	85,261	
	391,531	244,142	244,142	147,388	
	△ 599,235	△ 587,698	△ 587,698	△ 11,536	
	△ 207,703	△ 343,556	△ 343,556	135,852	

事業活動収入計	9,082,606	8,947,362	135,243
事業活動支出計	8,691,075	8,703,220	△ 12,144

.....

(3) 貸借対照表

貸借対照表(表3)は、法人の財政状態を表すものです。当年度の資産総額は416億5,183万円で前年度より4,643万円増加、負債の総額は61億7,376万円で前年度より3億4,509万円の減少となりました。その結果、資産の部合計から負債の部合計を控除した法人の純資産の部合計は、354億7,807万円で、前年度より3億9,153万円の増加となりました。

科目	資産の部		負債及び純資産の部		
	本年度末	前年度末	科目	本年度末	前年度末
固定資産	33,019,170	34,147,282	負債	6,173,760	6,518,857
有形固定資産	23,823,157	23,910,534	固定負債	3,715,095	3,809,712
特定資産	9,186,785	10,189,553	流動負債	2,458,665	2,709,145
その他の固定資産	9,227	47,194			
			純資産	35,478,076	35,086,545
流動資産	8,632,667	7,458,121	基本金	43,967,392	43,497,200
			繰越収支差額	△ 4,849,315	△ 8,410,655
資産の部合計	41,651,837	41,605,403	負債及び純資産の部合計	41,651,837	41,605,403

2019年度 予算

2019年度の資金収支予算書と事業活動収支予算書は次の通りです。

●資金収支予算書

2019年度の資金収入の合計は112億8,078万円、一方資金支出の合計は108億5,184万円で、4億2,893万円の収入超過となります。当年度は、寝屋川キャンパス新棟工事関連費用の支出等を予定しており、翌年度への繰越金は、87億7,654万円の見込みです。

●事業活動収支予算書

経常収支のうち、教育活動における収支差額は4,794万円の収入超過、教育活動外における収支差額は5,422万円の収入超過、双方を合わせた経常収支差額が1億217万円の収入超過となります。また、特別収支差額は1億6,220万円の支出超過となり、当年度の予備費として4,500万円計上したことにより、基本金組入前当年度収支差額は1億502万円の支出超過となります。結果として、基本金組入額22億7,351万円を控除した当年度収支差額は23億7,854万円の支出超過となる見込みです。

収入の部		2019年度事業活動収支予算書 単位:千円		
科目	予算額	科目		
学生生徒等納付金収入	7,377,816	収入の部	学生生徒等納付金	7,377,816
手数料収入	133,067		手数料	133,067
寄付金収入	66,558		寄付金	13,518
補助金収入	1,184,954	事業活動	経常費等補助金	1,184,954
資産売却収入	0	付随事業収入	32,620	
借入金等収入	0	雑収入	200,078	
前受金収入	1,244,522	教育活動収入計	8,942,055	
その他の収入	2,229,481	人件費	4,668,189	
資金収入調整勘定	△ 1,258,316	教育研究経費	3,496,362	
前年度繰越支払資金	8,347,603	管理経費	729,553	
収入の部合計	19,628,386	徴収不能額等	0	
		雑収入	8,894,105	
		借入金等収入	0	
		教育活動収支差額	47,949	
		前受金収入	70,000	
		その他の収入	0	
		教育活動外収入計	70,000	
		借入金等利息	15,773	
		その他の教育活動外支出	0	
		教育活動外支出計	15,773	
		教育活動外収支差額	54,226	
		経常収支差額	102,176	
		収入の部	資産売却差額	0
			その他の特別収入	73,040
		事業活動	特別収入計	73,040
			資産処分差額	235,245
		支出の部	その他の特別支出	0
			特別支出計	235,245
		特別収支差額	△ 162,205	
		予備費	45,000	
		基本金組入前当年度収支差額	△ 105,029	
		基本金組入額合計	△ 2,273,510	
		当年度収支差額	△ 2,378,540	
		施設関係支出	2,095,189	
		設備関係支出	299,136	
		資産運用支出	100	
		その他の支出	1,232,864	
		予備費	45,000	
		資金支出調整勘定	△ 705,077	
		翌年度繰越支払資金	8,776,543	
		支出の部合計	19,628,386	

学校法人大阪電気通信大学創立80周年記念事業募金

ご支援のお願い

学校法人大阪電気通信大学は、2021年に創立80周年を迎えます。

本学園は、今後深化するAI・IoTに対して、教育研究環境を更に充実させるため、学園創立80周年記念事業として、大学は寝屋川キャンパス新棟建築整備事業、高等学校は教育設備機器整備事業を行う計画をしております。

各事業にご理解をいただき、何卒ご寄付を賜りますよう、お願い申し上げます。

理事長 大石 利光



寝屋川キャンパス新棟建築整備事業完成イメージ図

新棟概要

建築面積：約9,200㎡
 延べ床面積：約19,500㎡
 高さ：16.555m
 階数：地上3階建
 構造：鉄骨造(体育館のみ木造)
 施設：
 1階 事務室、教員室、研究室、
 実験室、体育館、会議室、
 3D造形先端加工センター
 2～3階 教員室、研究室、実験室、
 プロジェクトルーム等
 時期：
 (第1期) 2020年6月供用開始予定
 (第2期) 2022年4月供用開始予定
 竣工時期、フロアプラン等は今後の検討により、変更となることがあります。

1. 募金使途および目標額(3億円)

- (1) 寝屋川キャンパス新棟建築整備事業(募金目標額：2億7千万円)
- (2) 高等学校教育設備機器整備事業(募金目標額：3千万円)

2. 募金期間 2019年10月1日～2022年9月30日(3年間)

3. 募金金額 個人 1口1万円以上 法人・団体 1口10万円以上

- ・できれば複数口のご協力をお願いします
- ・1口未満のご寄付につきましてもありがたくお受けいたします。

寄付金に関する
お問い合わせ先

法人事務局 記念募金推進室

TEL: 072-824-1131(代) FAX: 072-824-1141 E-mail: bokin@osakac.ac.jp

学園創立80周年記念事業募金の
詳細はこちら

一般・継続募金寄付者芳名録

寄付金募集に対し、多数の方々よりお申込みをいただき、心より御礼申し上げます。

ご寄付をお申込みいただきました皆様への感謝の意を込めまして、ここにご芳名を掲載させていただきます。

ご芳名一覧

- ・ご芳名は、2019年4月1日から2019年7月31日までにご寄付のお申込をいただいた方(個人・団体)を掲載いたしました。
- ・ご芳名は、五十音順に掲載いたしました(敬称略)。
- ・お名前の公表を希望されない方につきましては掲載しておりません。

池田 裕喜	上川 直紀	辻 聖晃	松浦 秀治
石本 一平	河合 利幸	寺西 正光	萬代 武史
茨木 陽光	川口 雅之	都倉 信樹	溝口 文子
上垣 公明	北尾 聡子	中田 亮生	森 幸治
植田 一正	北田 由博	中村 文俊	森井 房和
魚井 宏高	来海 暁	長野 聡	森川 紘也
魚谷 安久	倉地 宏幸	早野 秀樹	山崎 敏之
宇田 寛	佐々木 厚司	平田 貴之	山下 文裕
江口 誠	塩田 邦成	藤川 智彦	山本 剛宏
海老原 聡	住友 雄太	不破 信勝	吉川 省吾
王 少鋒	高橋 和子	堀井 大輔	(五十音順、敬称略)
大平 正敏	田中 孝徳	前野 智子	

次号の学報338号は2020年5月発行予定です